

国際

こだいら



2006年

No.48

Kodaira International Friendship Association News



2006年1月28日 (土)

新年交流会

鈴木ばやし

新年交流会

1月28日(土)午後6時半、鈴木ばやしの軽やかなリズムのお囃子と踊りとともに、恒例の新年交流会が始まりました。会場のルネこだいらレセプションホールには、80人を越える人が集まりました。外国人は11カ国20人以上の参加があり大変賑やかな集いとなりました。

各テーブルに用意された飲み物や軽食をつまみながら、友達同士あるいは初めて知り合った人との会話を楽しみました。会の途中、着物を着た外国人は舞台上に上がり着物姿を披露してくれました。「着物を着るのは初めてなので、嬉しい」「着物を着て楽しい」「帯が綺麗だけど自分で見る事ができないので、結び目を前にしてほしかった」との感想が聞かれました。舞台上では皆笑っていましたが、後で話を聞くと「帯がきつい」「草履の鼻緒がいたい」とずいぶん苦労をしているようでした。



さて、会の初めに舞台の上で踊っていた鈴木ばやしの踊り手たちは、会場に下りてきて参加者の間を練り歩きました。ひょっとこのような面白い表情のお面をつけて踊る姿は笑いを誘います。一緒に写真を撮ったり、一緒に踊ったりする人もいました。しかし、ひょっとこが近づいてきて、小さな子が泣き出しそうになる場面もありました。

午後8時、会話が弾み、盛り上がってきたところで新年会はお開きとなりました。いろいろな国の人達が小平で出会い、親交を深めることができたことは、素晴らしいことだと感じられる会となりました。

2005こだいら国際交流芸術展

12月6日(火)～11日(日)、ルネこだいら展示室にて国際交流芸術展が行われました。今年も、絵画をはじめ書や手工芸作品等、東洋・西洋美の数々が一堂に並び、大盛況のうちに、幕を閉じました。出展者は6カ国(フィンランド・アメリカ・韓国・中国・イギリス・オランダ)から20人、作品数は98点でした。300人近くの来場者がありました。

最終日の交流会インタビューでは、時間を越えるほど各アーティストへのユニークな質問が飛び交い、才気と

笑い熱気であふれ返りました。

人物画では、女性を賛美した作品が大半を占めています。なぜなのか尋ねてみたところ、「新しい生命を生み出す神秘的な存在」だからだそうです。

「また来年も是非案内が欲しい」と、早くも次回に期待がかかっています。抽象概念の解説は頭をひねる難しいものも多いですが、言葉よりも作品と心が主役ですので、またふるってご応募・ご観覧ください!



平成18年度は 次のような事業を行います

◎国際理解及び国際親善の普及事業

国際こどもクラブ(2期2クラス)、ハロウィンパーティ、日本語会話教室、英会話教室(レベル別クラス、シニア英会話)、外国語会話教室、アジア漫画展、国際交流芸術展

◎地域における友好交流事業

国際交流フェスティバル、国際交流パーティ、ホームビジット事業、交流サロン(年数回)

◎地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業

世界の料理紹介、世界の文化紹介、外国人のための茶道入門

◎国際交流情報の収集及び地域への提供事業

機関紙(年3回)・情報紙(年10回)の発行、情報提供コーナーの運営、電子情報の発信

◎その他協会目的達成のために必要な事業

ボランティア活動の推進、新年交流会、協会PR活動等の推進

平成18年度収支予算(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

●収入の部

(単位:千円)

科 目	予算額
賛助会費収入	1,434
補助金収入	15,151
寄附金収入	1
積立金繰入	1,500
事業収入	5,544
雑収入(預金利子等)	2
前年度繰越金	2,100
収入合計	25,732

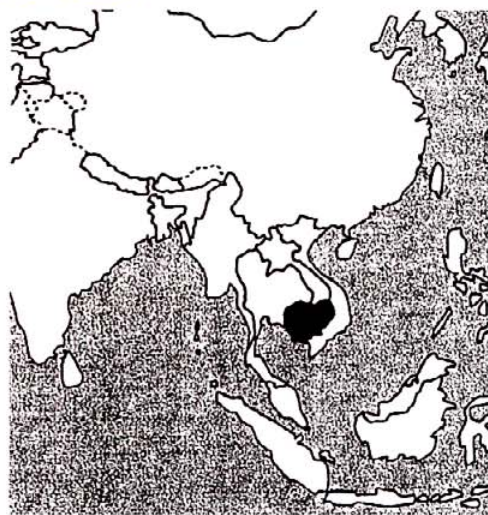
●支出の部

(単位:千円)

科 目	予算額
事業費	11,193
国際理解及び国際親善の普及事業	6,240
地域における友好交流事業	1,387
地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業	539
国際交流情報の収集及び地域への提供事業	2,537
その他協会目的達成事業	490
管理費(管理運営費)	13,962
積立金	1
予備費	576
支出合計	25,732

カンボジア

インタビュー



2000年4月に来日した電気通信大学の留学生ピット ティダーさんにお話を伺いました。

◎カンボジアのどちらのご出身ですか？

カンボジアの中央部コンポントム州ストンの出身です。州都のコンポントムからは50kmほど離れています。

◎来日の経緯を教えてください。

プノンペンの工科大学2年生の時、日本の文部科学省の奨学金試験に合格して日本に来ました。日本のNGOのさかんな援助活動、「おしん」や「大河ドラマ」などのテレビ番組の放映、日本製の家電やバイクの影響だと思えます。私も、同じアジアの国であり、高い技術力を持つ日本に行ってみたいと思い、試験を受けました。

◎日本の第一印象はいかがでしたか？

みんな「おしん」のように着物を着て生活していると思っていたので、ぜんぜん違って驚きました。

◎日本に来て驚いた事はなんですか？

銭湯です。裸になって他の人と一緒にお風呂に入るのはとても恥ずかしいです。また、湯船につかっているとぼせてしまうので苦手です。あと煙草をすったり、お酒を飲んだりする女性が多いのにも驚きました。カンボジアには、あまりいません。

◎日本語がどうしてそんなに上手なのですか？

最初の一年間は東京で日本語を勉強し、その後香川県の詫間高専の3年に編入し、3年間寮生活をしたのがよかったと思います。その間、異文化交流事業で、地元の小学校を訪問することが多く、日本の小学校教育は素晴らしいと思いました。音楽や体育、作文はカンボジアの小学校にはありません。人前で何かを発表したり、披露する機会が子供のころからあってうらやましく思いました。私自身、子供達に披露するために、以前は踊れなかったカンボジアの

サラワンやロンボンという踊りを練習し、踊れるようになったことも良い思い出です。

◎カンボジアの食事について教えてください。

朝食は屋台で、麺類を食べることが多いです。昼食、夕食には、タイ米に川魚や野菜を煮込んだスープをかけたものをよく食べます。食材はその日に調理する分だけを近くのマーケットで買います。停電があるので、食材を冷蔵庫に入れておくことができないからです。豚や鶏も食べます。味つけに塩やナンプラーを使います。あまり辛くはしません。お茶は、ジャスミン茶をよく飲みますが、今はタイ産の緑茶がはやっています。

◎日本の食べ物で好きなもの、嫌いなものを教えてください。

にぎり寿司が好きです。カンボジアではご飯と甘いものは一緒に食べないので、ちらし寿司や卵焼きのにぎりは苦手です。大学芋はおやつとして大好きです。

◎現在電気通信大学の学生さんと伺いましたが、将来の夢について教えてください。

カンボジアに戻って大学の教員になりたいです。また地雷の被害で、障害を負った人が数多くいるので、ITを使ってその人達の自立の手助けをしたいです。

◎最後になりましたが、日本人へのメッセージをお願いします。

日本のテレビ番組では、カンボジアの田舎ばかりが紹介されていますが、都会もあるし、博物館や美術館もあるのです。ビーチもあるし、美味しいシーフードもあります。カンボジアの様々な姿を知って欲しいです。

アジア漫画展

3月4日（上）から3月9日（木）まで、ルネこだいら展示室で恒例の「アジア漫画展」が開催された。

カンボジア、中国、インド、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、日本の各国の第一線で活躍している漫画家の77点の作品を展示している。これらは誰にでもわかり易い、ユーモラスな諷刺の効いた表現を通して、アジアの社会、文化、生活などを紹介している。

今年のテーマは「アジアの環境問題」であったが、来場者の中には「アジア各国は広々とした景色のよい所と思っていたが環境問題が大変」「環境問題は全世界に共通する大問題と思う」等々、感想を述べている人もいた。

この「アジア漫画展」によって一人でも多くの人が環境問題に理解と関心を持つことを期待している。



ホームピジット交流会

2月18日（土）国際交流協会の会議室にて、ホームピジット交流会が開催されました。軽食をとりながら参加者のウクライナ・タイ・韓国など、それぞれの国の話や日本で行きたい所、食べたいものなど話がはずみ、時間をオーバーするほどでした。個人的にアドレス交換などもしていて楽しいひとときを過ごしました。

大変お似合いです。「嬉し、恥ずかし。でも誇らしい。」といった表情は、まるで大和なでしこ・若武者のよう。いつもより襟を正した振舞いが満喫できた様子でした。

甘酒を飲み、ひなあられを食べながら、ひな祭りの由来を聞いたり、壁際に飾られた木目込人形を熱心に眺めたりした後は、琴の演奏を聴いてからの体験教室。皆われもわれもと琴の前に正座し、喜々として「さくらさくら」の弾き方を習い、最後は即興演奏会。締めくくりは花笠音頭を全員で踊り、和やかなムードの中、終了となりました。「日本の文化は楽しいですね。」そんな感想が聞かれました。



「ひな祭りの集い」



2月26日（日）学園西町地域センター2階にて「小平市木目込人形の会」と共催で、ひな祭りの集いが行われました。今年国際協力機構（JICA）研修員も参加して、総勢100名近くの賑やかな集いとなりました。

当日は外国人希望者12名が艶やかな着物姿を披露して会場は大いに華やぎ、一緒に写真を撮りたいと言う人が後を絶ちませんでした。着物を着付けてもらうのは初めてという方ばかりでしたが、皆さんそれぞれに

編集後記

この号がお手元に届く頃には、桜の季節となっている事でしょう。今回のインタビューでお話を伺った、ティダーさんは、めでたく、大学をご卒業、大学院への進学を決められたそうです。

皆様にとって、この春が、喜ばしく、希望に満ち溢れたスタートの季節となりますよう、心よりお祈り申し上げます。またこの機関紙を通じて、少しでも多くの方々にKIFAの活動に興味を持って頂けたら幸いです。（E.T）

発行日 平成18年4月1日

発行 小平市国際交流協会 編集 機関紙グループ

〒187-0045

小平市学園西町2-12-22 学園西町地域センター 3階

☎042-342-4488/FAX. 042-347-3003

小平市国際交流協会のインターネットもご利用ください

E-mail : info@kifa-tokyo.jp Homepage : <http://www.kifa-tokyo.jp/>